



# 議会だより

News from the Assembly

2012

平成24年

1月25日発行

No.123

昭和56年8月1日  
初版発行

○発行…太良町議会広報編集委員会

○〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954-67-2151

○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



太良町消防出初式（分列行進）

平成23年度 一般会計(補正)  
総額54億6千百36万円

議会会議録がインターネットで見られます。

◎太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。



## 新年のご挨拶

議長 末次利男

明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、お健やかに平成二十四年の輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から議会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ところで、昨年は自然災害の猛威に日本のみならず、世界中に混乱を招いた年でありました。新年を迎えたとは言え、未だ住み慣れた土地を離れ窮屈な生活を強いられている方々のことを思うと、一日も早い復旧・復興を願わずにはおられません。

わが町におきましても、少子高齢化や人口減少が顕著となり、町勢の発展を図る上で非常に厳しい局面に立たされておりますが、これを打開していくためには、町民にとって、十分魅力のある活力溢れた地域社会を創造することが、何よりも肝要であると考えます。幸いにして昨年、平成二十四年度から三十一年度までの八年間、今後の新

たな町づくりの基本となる、第四次太良町総合計画が策定されました。この総合計画をもとに、まちづくりの基本理念として「連携協働」「快適・健やか」「活力創造」を掲げ、希望をもち、安心して健やかにいきいきと暮らせるまちの実現に向け様々な施策や事業が推進されます。

議会といたしましても、地方の時代にふさわしい魅力あるまちづくりの推進のため、太良町が抱える諸課題の解決に向けて、一層の努力を重ねてまいります。

今後も開かれた議会を念頭に、町民皆さまの負託に応えられるよう積極的に自己研鑽に励んでまいり所存でございますので、本年も議会に対し、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成二十四年「辰」の年にちなみ、登り龍の如く、皆さまにとりまして素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



ガネッタくん

つきみんちゃん

今年1年良い年でありますように!!

## 臨時議会 (第2回) H23.11.22

### ◆大浦小学校管理・特別教室棟改築工事 請負契約の締結について

- ・契約者 松尾・増田特定建設工事共同企業体
- ・契約額 2億8千5百60万円



大浦小学校建設現場

# 12月定例議会

会期 12月12日～21日（10日間）

## 主な事業

### ◎増額補正

◆減債基金積立金	1億2千2百66万6千円
◆障害者自立支援給付費	2千2百70万円
◆保育所緊急整備事業費補助金	5百71万7千円
◆家庭用合併処理浄化槽補助金	3百93万2千円
◆高齢者等肉牛飼育基金繰出金	千2百51万9千円
◆過疎対策債	1億円

## 23年12月 定例会 議決結果

12月議会は、報告1件、事件議案7件、補正予算2件、計10件が提案され、議決結果は次のとおりです。

議案番号	件名	結果		内容
報告 第4号	第4次太良町総合計画基本構想及び基本計画	承認	全員賛成	平成24年度から平成31年度までの総合計画基本構想及び基本計画を定めたことの報告
第56号	太良町税条例の一部改正	可決	全員賛成	個人住民税の寄附金税額控除の適用下減額を5千円から2千円の引き下げ
第57号	太良町子どもの医療費の助成に関する条例の制定	可決	全員賛成	3歳以上就学前の医療費の支払い方法を窓口定額一部払い方式に改めるもの
第58号	太良町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正	可決	全員賛成	医療費対象者が重複する場合の優先条例を規定
第59号	太良町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正	可決	全員賛成	医療費対象者が重複する場合の優先条例を規定
第60号	指定管理者の指定	可決	賛成多数	自然休養村センターほか11施設を管理する指定管理者の候補者に「太良美装」を選定 期間 平成24年4月1日～平成27年3月31日
第61号	指定管理者の指定	可決	賛成多数	中山キャンプ場を管理する指定管理者の候補者に「太良美装」を選定 期間 平成24年4月1日～平成27年3月31日
第62号	財産の無償譲渡	可決	全員賛成	伊福児童館の土地及び建物を玉泉寺に無償譲渡
第63号	平成23年度太良町一般会計補正予算（第3号）について	可決	全員賛成	195,891千円を追加補正 歳入歳出総額5,461,360千円
第64号	平成23年度町立太良病院事業会計補正予算（第2号）について	可決	全員賛成	訪問看護ステーション事業費用 2,825千円の増額補正

# 一般質問

## 雇用対策の検証は



山口 巖 議員

答▼一定の成果があったと考える。

**議員** 国・県が推進した

緊急雇用対策も、今年

度で終わるが、太良

町も多くの事業に取り

組み、新規雇用の人達

法人・団体と恩恵を受

けた事と思うが、町と

しての検証(評価)は。

**町長** 事業費の全額が助

成され、雇用確保の点

から見た場合、一定の

成果があったものと思

える。

**議員** 今回取り組んだ十

七事業の中で、プラス

まちづくり事業につい

ての考えは。

**町長** 各種イベントに取

り組むことを目的にコ

ーディネーターを配置

し、事業を行い、具体

的なイベント事業が展

開され、さらに昆虫ビ

ジネス事業の立ち上げ

という実績を残し、ま

ちづくり事業としての

評価はいただいている  
と認識している。

**議員** 今後の事業の展開

については、どのよう

に考えているか。

**町長** 町の単独事業とし

て継続し、平成二十四

年度からは、道の駅の

施設内に新しく設置さ

れる観光案内所に入る

予定の太良町観光協会

に委託し、地域の資源

を生かした町民の手に

よる、新たな「プラス

まちづくり」が展開す

ることを期待する。

**議員** しあわせ発見事業

についての評価は。

**町長** 若者たちが交流で

きる場を創設し、結婚

を希望する世代に対し

その機会の提供を行う

事業であり、三年間で

十八回の交流イベント

を実施し、延べ二百五

十二名の参加があった、

期待したような実績が  
見込めず、二十三年度

に全額助成の事業が終

了するに当たり、今年

度をもって、しあわせ

発見事業も終え、婚活

に関する事業は、別の

形での方策を検討して

いる。

**議員** その方策の内容は

どのような内容なのか、

またどのくらい計画は

進んでいるのか。

**企画商工課長** TBSの

テレビ番組で、「もて

もてナインティナイン

」お見合い大作戦の

番組があるが、それに

参加する計画を立て、

各種団体等に問い合わせ

せ、参加者を募ってい

る。

**町長** この事業は、婚活

ということであるが、

太良町も全国に宣伝さ

れ、町自体の活性化に

つながり期待をしてい

るところである。

J A資材店舗跡地の  
利用計画について

**議員** 資材店舗の移転工

事も進み、新店舗オー

プンの日を待つだけと

なった、町が購入した

跡地利用については、

建設検討会を立ち上げ、

協議しているとの報告

だが、内容はどのよう

なものが話し合われて

いるのか。

**町長** 基本的な内容は、

設置は町で、管理運営

は民間で行う。

施設の内容は六次産

業化を念頭に置き、何

ができるかということ

を民間の自由な発想で  
協議が行われている。

**議員** 施設の利用計画の

協議が遅れているよう

に感じるが、協議が十

分に熟すのをまつて、

設計・建設をされるの

か、その判断は。

**企画商工課長** 実のある

施設にしていきたいと

考える。

充分協議を積み重ね

て建設検討に向けてい

きたいと考える。

**議員** 高齢化が進む中で、

以前行われていた車に

よる移動販売の方法も

必要と思うが、取り入

れられないか。

**企画商工課長** 買い物弱

者の支援ということに

なるが、まだ移動販売

をされてる事業者もお

られ、そういう方と連

携をとるのも必要で、

自由な発想のもとで考

えたい。



16日オープン予定「JAさがグリーンセンターたば」

# 太良町の産業は活性化しているか。



牟田 則雄 議員

答▼ 景気の低迷により横ばいで、推移している。

**議員** 町の総合基本計画

や、町長の施政方針の第一の柱に掲げる、「賑い、たら活気ある産業のまち」について。

まず産業の活性化の判断基準として、町内産業の総生産額、産業別の生産額等、ここ数年の状況は。

**町長** 平成二十年度の総

生産額は、二百十三億二千六百万円で、内訳は一次産業四十二億九千三百万円、二次産業二十二億四百万円、三次産業百五十三億百万円となっている。

一次産業の内訳は農

業が三十六億二千八百万円、林業一億三千六百万円、水産業五億二千八百万円である。

**議員** 総生産額では、県

内市町で何番目か。

**農林水産課長** 県内で二

十市町あるが、一番下である。

**議員** 下から二番目の大

町町が、総生産額二百八十三億四千四百万円で、太良町と七十億円の差だが、産業だけ比べると九十八億九千万円の差があり、太良町は産業が極端に弱いと思うが、活性化の対策は。

**企画商工課長** 雇用の創

出、各種産業の振興事業等を実施しているが、景気がよくない今、横並びであり伸びていない状況である。

**議員** 町民所得状況はど

うか。

**町長** 一人当たり百七十

三万四千元（県内最下位）で推移している。

**議員** 産業の活性化の一

つとして六次産業化の方針を掲げられたと思うが、六次産業の定義は。

**農林水産課長** 一次産業

に従事する方が主体となつて農産物の加工、販売まで取り組み二次産業、三次産業の利益を一次産業者が生み出す制度である。

**議員** 六次産業化に対し

行政として、どう関わっていく考えか。

**町長** 六次産業化に取り

組もうとする農林漁業者は、みずから経営全般を考え必要となる施設、整備等、申請者からの相談や農政局への照会や、調整について関係機関と連携し今後とも支援したいと考えている。

市町名	1. 産業					市町内総生産	1次産業	2次産業	3次産業
	農林水産業								
	計	農業	林業	水産業					
県	2,528,236	83,805	64,574	3,026	16,205	2,923,844	83,805	802,844	2,098,700
賀	716,386	18,037	8,976	478	8,584	833,985	18,037	146,716	705,594
津	286,609	17,192	13,560	705	2,927	344,797	17,192	61,637	272,841
鳥	294,414	1,248	1,189	60	-	321,031	1,248	141,159	180,540
多	51,570	1,825	1,678	138	9	62,959	1,825	17,033	44,724
伊	265,459	5,677	5,203	366	108	295,319	5,677	165,910	126,142
武	130,277	3,248	2,956	280	11	154,968	3,248	29,921	124,420
鹿	80,719	4,489	3,110	137	1,241	93,033	4,489	28,081	62,236
小	90,256	4,304	3,290	59	955	104,523	4,304	23,025	78,512
嬉	63,204	2,346	2,143	195	7	75,523	2,346	10,632	63,762
神	67,172	3,122	2,739	163	220	84,726	3,122	22,043	60,805
吉	47,371	1,030	980	50	-	64,432	1,030	23,761	39,906
基	52,416	215	193	22	-	57,704	215	26,308	31,700
上	40,979	445	442	3	-	44,334	445	22,966	20,772
や	57,061	1,688	1,658	22	7	66,693	1,688	17,815	47,980
海	114,187	2,371	2,089	29	253	119,100	2,371	3,067	113,278
有	44,963	1,350	1,239	93	17	52,872	1,350	15,961	37,063
大	26,107	299	293	6	-	28,344	299	16,903	11,587
江	33,953	1,305	1,295	9	-	37,383	1,305	19,069	17,375
白	48,917	9,322	7,913	72	1,337	60,793	9,322	8,633	44,162
太	16,212	4,293	3,628	136	528	21,326	4,293	2,204	15,301

平成20年度 経済活動別市町内総生産（実数）

（単位：百万円）

# 太良町産業振興の考えは



見陣 泰幸 議員

答▼行政も前向きに考え協力したい。

**議員** 六次産業について、

一次産業だけでなく、二次産業、三次産業が主体となつたいろんな考え方があつたと思うが、

行政としての考えは、町長 町としては申請者の相談等に対し国の制度を活用し、六次産業化の取り組みを関係機関と連携し、支援していきたい。

**農林水産課長**

農工商の連携は農林漁業者と食品産業者が共同で取り組む事業で当然二次産業、三次産業が主体となれると考へている。

**議員**

太良町独自の考え方もあつていいと思うが。

**農林水産課長**

生産から加工販売までとなると、専門知識を有するサポートの助言も必要と思つている。

**議員** 異業種交流会は、

何回行い意見はどのようになつたのか。

**企画商工課長** 今まで五

回開催し、地域活性化に向けての行動計画、農工商連携、資源の活用、販売の方法等、実のある研修会をし、六次産業化に向け勉強会

をしてい

**議員** 道の駅太良の西側

にある土手から、鹿島よりのみかん畑までの一面に、芝桜を植栽してはどうか。

**町長** 今は、海岸よりの

堤防に太良、大浦の小学生と各保育園、幼稚園児で絵を描いて貰い観光スポットのひとつにし、芝桜について

は今後検討したい。

**議員** 観光案内所の取り

扱い、運営方法の進捗状況は。

**町長** 現在建築中であり、

初年度は町が管理し、次年度から観光協会への委託を考へているが、協力はしていきたい。

**議員** J A資材店舗跡地の

利用方法は。

**企画商工課長** 中身につ

いては、実施主体、運営主体それぞれの意見を集約し協議を重ねていきたい。

**議員** 竹崎城址全体にイ

ルミネーションをして観光スポットにしては。

**町長** 年間三万人位の来

場者があり観光客に親しまれる施設にしたい。

**企画商工課長** 冬場はラ

イトアップをしているが、経費の問題がある。

**議員** 農地の荒廃地は現

在どれくらいあるか。

**農林水産課長** 平成二十

年度の調査で、太良地区百十五・二ha、糸岐地区九十二・六ha、大浦地区百七・九ha、全体で三百十五・七ha、となつている。

**議員** 山と山をつぶして

ひとつの谷を埋め、広範囲な圃場整備は出来ないか。

**町長** 集約農地として基

盤整備をし、将来的には新規就農される方に斡旋をしたいと考へている。

**議員** 五年後、十年後を

見据えて、二代、三代にわたりひとつの事業を成し遂げていく、そんな考へがあつていいと思うが。

**町長** 大規模な構想には、

土地の問題そして経費の問題、町民皆さんの意見等いろんなことがあつたと思うが、前向きに検討していきたい。



絵を描く予定の道の駅太良の堤防

# 河川の防災対策及び河川に隣接する道路の安全対策を問う



江口 孝二 議員

答▼  
いつでも災害に対応できるような対策をとっている。

議員 自然災害に対する、

町長の防災及び安全対策の考え方は。

町長 町政を預かる者として、町民の生命、財産、そして安全・安心を守ることを肝に銘じ

いつでも災害に対応できる体制をとれるよう対策をとっている。

議員 危険水位等が設置

されている河川があるか。

町長 消防団待機水位は

多良川で一・七メートル、糸岐川で二・三メートル、はんらん注意水位が多良川で二・一五メートル糸岐川で二・七メートルに達した場合である。

議員 雨量計が設置されているが、利活用は。

町長 県と町で、町内七カ所に設置されている。

総務課長 太良町の場合、

雨量が三時間で八十ミリ以上になると洪水注

り以上になると洪水注

意報が、百二十ミリ以上になると警報が出るようになっている。

議員 河川の水位は有明

海の潮汐に著しく左右されると思うが、どのように考慮されているか。

町長 満潮の時間は分か

っているから、降雨量あるいは河川の水位等を見守り災害に備えている。

議員 多良川の下流、栄

町の新地地区の堤防の高さは二・七メートルしかなく、大雨の時は絶えず危険と隣り合わせの状態だが、堤防のかさ上げ等の必要は。

建設課長 数年前から毎

年防災パトロールで現

地を県に見てもらって、要望をしている。

議員 河川は町と県が管

理しているが、打ち合わせや協議会等の開催は。

町長 毎年五月に太良町

防災会議を開催し、会議終了後、全員で危険

箇所等のパトロールを実施している。

議員 多良川のJR鉄橋、

左岸側堤防の石積みの間から雑木が多数生息し、距離にして百メートル以上ある、パトロールを実施しているの

であれば、議題に挙が

ってもいいと思うが。

町長 堤防も決壊する恐れがあるので、早急に

土木事務所と連絡をとり、一日も早く伐採をさせたい。

議員 河川の危険箇所はあるか。

町長 特に危険が予想さ

れる地域として、多良川の豊足橋から古賀橋の両岸四百メートルを指定している。

議員 町道四十号線栄町

から古賀へ伸びる道路で八十七メートルの間、何の安全柵も施していないところがあるがなぜか。

町長 高齢者等が通行さ

れる場合は、危険を伴うと実感している。護岸敷であり、県との協議が必要となるので、対策をとってもら

うよう土木事務所に陳情していきたい。



改修が望まれる多良川下流

# 町内の環境整備と状況は



所賀 廣 議員

答▼今後の検討課題としていく。

## 水下地区周辺の整備は

**議員** 国道二〇七号波瀬ノ浦地区の水下付近流域には、町内外より多くの方々がアサリ掘りを楽しみに来られる。車の駐車や用足しなど時折目に余る光景が見られるが周辺の整備ができないか。



波瀬ノ浦 水下地区付近

**町長** 以前から期限を定めて駐車禁止の規制を実施しており、看板の設置などを行い、ドライバーの注意を喚起し

ていきたい。

**議員** 町道の分岐点から通る里道周辺に至っては排便や下着の投捨てが見受けられるが何らかの方策がとれないか。

**総務課長** 貝を掘りに来た方々のマナーの問題と思うが、ものすごく目に余る状況になった時は何らかの対策を考えなくてはならないと思う。まずは警察や役場職員等が頻繁に入ることを考える必要があると思う。

**議員** 特別な里道と考えて清掃整備に助成金を支給する考えはないか。

**建設課長** 町道の愛路日実施については委託料として行っているが里道については総延長から考えると難しい問題だと思う。

**議員** この里道周辺に季節的でも、ごみ箱の設置はできないか。

節的でも、ごみ箱の設置はできないか。

## 環境水道課長

ごみの持ち帰りはマナーだと思っ。季節的であっても現時点で設置する考えはない。

不法投棄防止の看板設置等も考えながら今後防止等に努めたい。

## 遊歩道を兼ねた道路整備について

**議員** 太良病院から油津海岸を経て太良嶽神社〜児童遊園地〜庁舎迄

遊歩道を兼ねた道路建設はできないか。

## 町長

現在の町の財政状況で多くの懸案事項がある中、どの程度の優先度があるか、今後の検討課題としたい。

**議員** 橋をかけた場合、油津海中道路から太良嶽神社まで約45m、元の児童館からテニスコートまで約65m、太良病院から庁舎まで合計約1kmあるが、有明海を望みながら庁舎まで気分転換の一つとした道路と思われる。

年次計画として考えられないか。

**町長** 別枠として有明海沿岸道路を今、国のほうにお願いしているとこ

ろで、この沿岸道路がだめだということになれば、その時点で検討していきたい。

**議員** この道路建設がある程度実現の方向へ向かった場合、油津児童遊園地を整備する事によって太良町の沿岸道路が有効に活用されると思うが単年度計画ではなく、四、五年後を見据えて前向きに検討されたい。



油津児童遊園地〜庁舎側



油津海岸〜太良嶽神社

# 経済建設常任委員会視察報告

平成二十三年十一月九日～十一日、福島県広野町といわき市、群馬県川場村へ視察研修を行った。

広野町は、福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域外へ避難を強いられている住民の一時帰宅の中継地点で、地域ごとに日程が決められ防護服に着替え、専用バスに乗っての一時帰宅であった。

いわき市では、津波被害を受けたまま残された家屋や、がれきの撤去もまだまだなされておらず津波の大きさを物語っていた。

本町も高潮対策、防災対策にもっと力を入れて行かなければならないと、改めて感じたところである。

群馬県川場村は人口三千五百人の農山村の小さな村ではあるが、四代の村長さんが「農業プラス観光」を基本路線に一貫して取り組み、関東・甲信越地区「訪れたい道の駅」五年連続一位の、道の駅「田園プラザ川場」を中心に、活力ある地域社会を形成し、平成二十二年は売上高八億六千二百二十四万円、入込数九十七万人と年々増加を続け、六十二名の村民の就労の場となり、村民の共通財産であると認識し、まさに行政と住民が一丸となって取り組んだ事業であった。

十年、二十年先を見据えて取り組み、一貫した政策が必要であると強く感じた。

最後の日は、衆議院の予算委員会を見せて頂きその後、国会議員とTPP問題について意見交換をして視察研修を終えた。



▲川場村での研修



被災地の状況



# 総務常任委員会視察報告

平成二十三年十一月十日に、町内の福祉施設である宅老所おおうら、宅老所まごころの家、グループホーム太良の里、グループホームさんはうす、ふるさとの森、ぬくもいホームたら、光風荘の七施設を視察した。

平成十二年四月に介護保険制度が発足して十一年目となる。

我が国の急速な高齢化によって、老後の最大の不安要因は介護問題であることから、介護を社会全体で支え、利用者の要望を尊重した総合的なサービスが安心して受けられる仕組みとしてスタートしたと思う。

本町における高齢化率も高まる一方で、少子化や若年層の町外への転出等、町の将来にかかわる重要な問題は山積している。

今回の視察研修を通して、介護支援の在り方等のいろいろな知識や介護事業に対する考え方等、改めて学ぶことができ、特にどこの事業所の利用者、職員も笑顔が一番であるとの思いでやっておられ、そういう熱意を感じる事ができた。



▲グループホームさんはうす



▲宅老所まごころの家



▲グループホーム“太良の里”



▲ふるさとの森



▲ぬくもいホームたら



## 議案調査

十二月十六日に、十二月定例議会に提案された議案について現地調査を行った。

指定管理者指定について道越環境広場を、トラックスケール修理について(有)太良クリーンセンターを、園舎の改修工事について多良保育園を、土地・建物の無償譲渡について伊福児童館をそれぞれ調査した。



▶多良保育園



◀伊福児童館

## 決算審査特別委員会

10月26・27・28日、本委員会を開催、まず水道会計は年間の有収水量を上げるため、配水管の改良工事等施設の充実が図られ有水率は昨年より上昇したが、今後老朽化等に対応が必要と思われる。

次に町立太良病院事業会計については最新機器の導入、医療スタッフの充実によって、病床利用率は64.7パーセントと前年を1.8パーセント下回っているが、病院全体で黒字経営となり評価できる。

次に一般会計及び特別会計では、町税の徴収率は現年度課税分で98.7パーセント、滞納繰越分の徴収は28.7パーセントと前年を9.9パーセント上回った。滞納整理は最大の努力と手段を持って臨みたい。

特別会計においては、各会計とも努力の跡は見えるが今後も健全経営及び財政運営に更なる努力を望む。



▲決算審査状況

議会の主な活動 10月～12月

11月			10月		
10	9～11	5～6	31	28	26
・総務常任委員会所管事務調査	・経済建設常任委員会行政視察	・太良町文化祭	・後期高齢者医療連合定例会	・議会だより編集委員会	・決算審査特別委員会(26・27・28)
		・議会だより編集委員会			・森林・林業、林産業活性化九州大会
		・鹿島市議会との交流会			・西部広域環境組合定例会
		・佐賀県町村議長会議長会議			・西部政経セミナー
					・差別の現実に学ぶ研修会
					・市町村議会議員研修
					・山林運営委員会
					・22年度決算勉強会
					・議会だより編集委員会
					・議会広報研修会
					・市町村議会議員研修
					・市町村行政講演会
					・県民体育大会出場結団式
					・鹿島市議会報告会見学
					・第17回学童駅伝大会
					・全国過疎地域自立促進連盟総会
					・佐賀県町村議長会行政視察
					・十夜市太良町全員まつり
					・福祉ふれあい祭り
					・臨時議会
					・全員協議会
					・民生委員推薦会
					・第2回太良町教育研究大会
					・政経セミナー合同例会
					・議会運営委員会
					・12月議会招集
					・議員全員協議会
					・議会一般質問
					・大浦小改築工事起工式
					・議案調査のため町内視察
					・議案審議
					・消防団年末特別警戒



1月8日(日)

太良町消防出初式

太良町消防出初式が町内外より来賓の方々をお招きし開催された。団員全員、年頭の決意を新たにし、式を閉じた。

祝賀放水

編集室より

明けましておめでとうございます。一月四日に自然休養村管理センターにおいて開催された成人式は、成人者を主役とした催しで「みごと」な成人式でありました。平成二十四年も厳しい幕開けとなりました。町の一次産業は、農業・漁業・林業も大変な試練の時代の真ただ中にあります。私たちの生産と生活の場として、恵まれた自然環境を守るため、町民の英知を結集いたしましょう。議会だよりは、町民の真の意志を代弁するため、心を新たに委員一同努力しますので、率直なご意見をお願いします。

編集委員会

- 委員長 平古場公子
- 副委員長 所賀 廣
- 委員 牟田 則雄
- 山口 則雄
- 江口 孝二
- 田川 浩